

7/3

「^{そだ}育ちあうまち。筑紫野市」を とともに^{すいしん}推進するために

筑紫野市商工会、筑紫野市観光協会とまちづくり座談会を開催

当市のシティブランディング事業を更に推進させるため、平井市長が商工会、観光協会とまちづくり座談会を開催しました。懇談ではシティブランディングの取り組みや今後の展開を共有した後、子どもの育ちや郷土愛の醸成、観光・地域産業の魅力向上などをテーマに意見交換を実施。ブランドコンセプトを市・事業者が共有し、それぞれの取り組みを通じて「育ちあうまち。筑紫野市」をともに育てていくことを確認しました。



平井市長と商工会、観光協会の皆さん

まちづくり
座談会を
開催しました



▶まちづくり座談会の内容は、市ホームページでも紹介しています。



7/29

西鉄紫駅の未来を語り合うまちづくり座談会



筑紫高校、九州産業高校、日本経済大学、筑紫女学園大学とまちづくり座談会を開催

「西鉄紫駅の利活用」をテーマに、まちづくり座談会を開催しました。各高校・大学の皆さんが、駅のにぎわい創出や待ち時間を快適に過ごせる空間など、若者ならではの視点でアイデアを発表。市長や西日本鉄道株式会社との活発な意見交換を通して、紫駅の新たな魅力や可能性について考えました。高校生・大学生の声を実現するため、多くの人に関わりながら、紫駅の新たな魅力を育てていく。未来へ向けた育ちあうまちづくりの一步が始まりました。



平井市長と座談会に参加された皆さん



活発な意見交換が行われました

7/11

こ
まご
子や孫とともに
そだ
育ちあう

男性の育児参画セミナー「木工パズルを作ってみよう」

おもちゃ作りや遊びを通して、子どもとの関わりを深めることを目的に、男性の育児参画セミナーを開催しました。子や孫とともに父や祖父5組12人が参加し、木工パズル作りに挑戦しました。普段は使う機会のない電動糸のこの使い方やパズルの作り方を学び、参加者は「一緒に工作する機会はあまりなく、楽しく良い時間を過ごせました」と感想を語りました。



一緒にもの作りをする楽しさを体験しました

7/8

ぎゅうしよく
給食で、もっと
し
ざん
や
さい
あじ
市産野菜を味わって

地場産野菜生産者 学校給食試食会

学校給食共同調理場では市内でとれた野菜を使用し、1日に約9,700食の給食を調理し、市内全ての小・中学校へ提供しています。その野菜の生産者や、筑紫農業協同組合のみなさんと学校給食試食会を行いました。給食の調理過程の動画を観た後、給食を食べながら、給食に使う地場産食品の種類拡大について意見を交わしました。



市産の生姜、アスパラガス、宝満とまとなどを給食に使っています

7/14

かい がい に ほん
海外と日本の
か かし
懸け橋に

BRIDGE Summer Camp対面式

アジア太平洋子ども会議・イン福岡が開催する「BRIDGE Summer Camp」で、当市はパラオ、ネパール、モンゴルの子ども大使団を招へいし、パラオの子ども大使団5人とホストファミリーとの対面式を行いました。期待と緊張のなか待っていたホストファミリーは笑顔で迎えました。子ども大使団はホストファミリーのもとでホームステイしながら学校登校などを通して交流を深めました。



言葉や文化の壁を超えて友情を育みました

7/11

にん ぎょう
人形たちに、
ワクワク、ドキドキ

からこま座が市民図書館で人形劇公演

市民図書館で、からこま座による「マシュマロとぅるん」と「ふしぎのくにのアリス」の人形劇を開催しました。子どもから大人まで73人が訪れ、会場は終始笑いに包まれました。大小さまざまな人形や、そのユーモラスな動きとストーリー展開に、ときには驚きの声も上がり、観客は人形たちが繰り広げる世界にすっかり引き込まれて心を揺さぶられる時間を過ごしました。



演目「ふしぎのくにのアリス」の一場面

7/23

ちょっと心をかしてくれませんか



同和問題講演会

生涯学習センターで同和問題講演会を開催しました。ヒューマンバンド「熱と光」代表の宮崎 保さんが講演し、歌と語りで聴衆の心を釘付けにしました。

宮崎さんは、「差別はやめましようと言うだけでは人の心は変わりません。それは、一人ひとりが自分の心の中を見ていないから。心の中を見ると、そ

こに人を見下したり差別したりする気持ちがあることに気がきます。それを取り除くと、その分、心が軽くなります。その心の空いたところに素敵なものを入れていく努力をすれば、差別のない世の中はできます。」と話し、差別のない世の中が必ず実現できることを強く語りかけました。



熱唱する宮崎さん



たくさんの人が参加しました

7/30

被災地に 水を届けに



給水車が熊本へ向け出発

7月28日(火)に発生した「令和8年熊本地震」により水道施設が甚大な被害を受けたことから、市より人員と給水車を派遣しました。派遣している人員は環境経済部上下水道工務課職員2人と1.2トン給水車1台で、熊本県宇土市などで当面の間、被災者への応援給水作業にあたります。その他、要請に応じ、復興に向けた支援を続けます。



7月30日(休)6時に、現地にむけて出発しました

7/25

主要地方道久留米筑紫野線 「西小田橋」が開通



「西小田橋」 開通式

半世紀以上にわたり地域の暮らしを支えてきた「西小田橋」が、地域の皆さんの温かい支援と協力のもと、新しく生まれ変わりました。新しい橋の長さは100.6m、幅は10mで、歩道も新設されました。開通式ではテープカットとくす玉開披、さらに農耕車を先頭に渡り初めが行われました。地域の安全・安心の向上、産業の発展に資する重要なインフラとして活用されます。



開通式には地域の人など約100人が出席しました